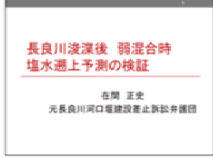
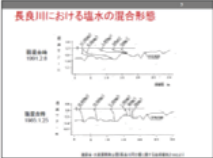
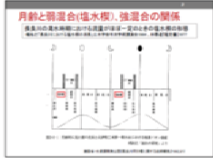
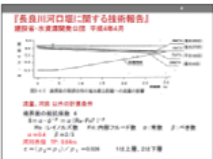
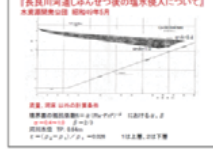
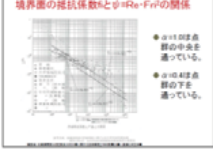

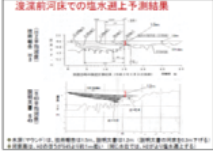


「第4回愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会」に関する傍聴者の御意見と傍聴者の質問に対する回答など

氏名	御意見	質問に対する回答など
在間 正史	<p>資料7塩水遡上について(「資料8:塩水遡上の予測結果」)の約30km~約27km地点までの塩水が遡上する予測は、堤内地の塩害はもちろん長良川の塩水訴訟の予測としても、別紙のように、不十分なものである。</p> <p>この塩水遡上予測は、小潮時の年平均満潮位の最高時の(月齢・日内の限られたときの最大)観測データ群の下を通っている定数による(遡上距離が長くなる)2層流計算(上下層の混合を無視)の結果にすぎない。</p> <p>実際は、弱混合は、平水流量70m<sup>3</sup>/s以下の小流量時で、緩混合的で、マウンドを越えると急激に塩分濃度が低下する。浚渫後の堆積で、マウンドが形成されている。(マウンドで塩分濃度が急激に低下し遡上が止まる。)</p> <p>開門をして、実測による塩水遡上状態の検証が必要である(非灌漑期に調査が可能)。</p> <p>(下記資料の拡大版については別添をご覧ください)</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">  </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">  </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">  </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">  </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">  </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">  </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">  </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">  </div> </div>	

**技術報告の予測の問題点 ②**

①河川水位でなく、(1)小淵の平均流量と(2)の流量  
 \* 2018年6月の観測の平均流量と(2)の流量  
 \* 2018年6月の観測の平均流量と(2)の流量  
 \* 2018年6月の観測の平均流量と(2)の流量

②予測精度  
 \* 予測精度は、観測値との差を評価しているが、観測値との差が大きい場合、予測精度が低いと評価している。

③予測精度  
 \* 予測精度は、観測値との差を評価しているが、観測値との差が大きい場合、予測精度が低いと評価している。

**確保流量と伊勢大橋塩化イオン濃度の関係 (技術報告の予測の問題点③)**

塩化イオン濃度は、最大で10,000 mg/L程度  
 濃度が10,000 mg/Lを超えると、塩化イオン濃度が低下する。

**長良川の雨量合時の塩水濃と変動**  
 技術報告の予測の問題点④

塩水は、100mm以上の雨が降ると、濃度が低下する。

**長良川の河床高(平均) 技術報告の予測の問題点⑤**

河床高は、観測値と予測値との差が大きい場合、予測精度が低いと評価している。

**技術報告の塩水濃と予測計算の検証 (小括)**

\* 観測値と予測値との差が大きい場合、予測精度が低いと評価している。

\* 観測値と予測値との差が大きい場合、予測精度が低いと評価している。

\* 観測値と予測値との差が大きい場合、予測精度が低いと評価している。

**技術報告の塩水濃と予測の検証 (まとめ)**

\* 技術報告の約20km～約70km地点まで塩水が観測される予測(入川後4日)は、小淵の平均流量と(2)の流量との関係が大きい場合、予測精度が低いと評価している。

\* 技術報告の予測は、観測値との差が大きい場合、予測精度が低いと評価している。